

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 5 月 7 日

所属	政策情報学部	職名	専任講師	氏 名	戸川和成
研究課題	ソーシャル・キャピタルを育むプレイス・メイキングは都市ガバナンスを円滑にさせるか				
研究キーワード	ソーシャル・キャピタル、都市ガバナンス、防災・減災・多文化共生	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	3. すべての人に健康と福祉を	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	5. ジェンダー平等を実現しよう	11. 住み続けられるまちづくりを	

1. 研究成果の概要

本年度は主に、自治体視察・往訪によって得たヒアリング調査データをもとにした言説を調査実施後に整理するために事資料作成を目的とした研究補助員を採用するなどし、速記録の作成に力を入れた。

さらに、言説から得た知見をもとにして都市研究、社会学のネットワーク研究およびソーシャル・キャピタルに及ぶ定性的/定量的研究に関する検討をおこなった。

加えて、本研究では国際移民の社会統合を目指した多文化共生に考えられる行政の隙間事案に対する問題がどのように起きているのかを考察するために、広島および山口県に赴いて取材をおこなった。それによって行政だけでは解決できない市民のまちづくりにソーシャル・キャピタルを醸成させることが不可欠であること、それには離島をケースにみれば住民の理解を育む町企業との連携が必要であることが得られた。今後はこの知見を踏まえて、どのようにして隙間事案に対してソーシャル・キャピタルが有効であるのかを検証する方法を精緻に考えることにしたい。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文 (査読あり)】

戸川和成・宇佐美淳・淵元哲 (2025) 「ソーシャル・キャピタルと地域担当職員制度に関する研究

―地域担当職員制度は政策参加を促進させて政策満足度を高めるのか―」経済社会学会編『年報経済社会学』、vol.49、採択済

【著書・論文 (査読なし)】

戸川和成 (2024) 「暮らしを支えるコミュニティ政策と住民参加に関する自治体調査からみた全国 61 都市の地域担当職員制度と都市ガバナンスに関する考察」、『千葉商大紀要』、62 巻、2 号、pp.43-73。

【学会発表等】

戸川和成・露口健司・関口由紀子・西川雅史・稲葉陽二 (2025) 「キーコンピテンシーを育む教育の拡充は社会関係資本を蝕む経済格差の防波堤としての役割を果たすか」、日本社会関係学会、第 5 回研究大会、獨協大学、3 月。

3. 主な経費

研究補助員採用・複数名 (ヒアリング調査の速記録作成およびデータ分析結果の表・資料作成を目的として)、図書費、研究関連機材費 (Zoom など) のほか

4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金状況等)

(本文は 2 ページ以内にまとめること)